

## 【転んだり起きたり続く如月は 带状疱疹講演依頼】

年明けから七転び八起きの年になるかと思っていたが、あに凶らんやまきにそんな感じだ。

2月2日(木)首と肩に痛みが走っているので整形外科に出向く。レントゲンを撮っての診察結果は、「首の頸椎が圧迫されて神経に触っている。首を動かさないで暫し様子見」だった。

首の痛みはどうなるかとビクビクしていたら、5日(日)に左耳後ろ近辺に赤い発疹。休日診療の皮膚科に赴くと即決で「带状疱疹」。30代に一度かかったので2回目にはないだろうと高をくくっていたら、パチが当たったようだ。抗ウイルス薬、痛み止め・痒み止めと軟膏を処方してもらい療養の日々が続く。早期発見・早期治療の一週間経過で落ち着いたのでほっとしている。

## 二回目の带状疱疹もういいよ 早く出してくれ退場方針

## 二回目の带状疱疹落ち着いて 「痒い」は去りて「快癒」に向かう

## 【半世紀以上も経ってマトンゴに 遭遇なんて思いも寄らず】

昨年1月に図書館で見つけて中古本を購入したものの読みかけのままだった「2001 キューブリック クラーク」を带状疱疹療養期間に読破できた。1964年頃キューブリック監督が日本のSF映画「マトンゴ」(1963年・東宝作品)を見て特殊撮影(フロントプロジェクション)をチェックしていたという下りが出てきて、「おー、ホントか?」と唸ってしまった。小学生の頃、「マトンゴ」を見て恐い思いをしたことが蘇って来た。



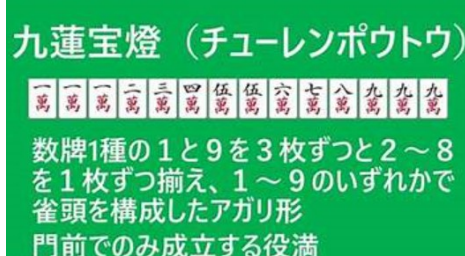
あの水野久美さんはどうしてるだろう? なんて思って早速ネット検索をした僕だった。

## マトンゴをまた見る機会来るだろか それとも見ずの久美になるのか

## 【リアルでは体験出来ぬ役満よ いやはやビックリ九蓮宝燈】

コロナ禍の余暇対策として奥方と遊んでいるオンライン麻雀「雀魂」で、何とナント超レア役満「九蓮宝燈」を上がってしまった。

上がったら麻雀牌を燃やさないと死ぬとか言われている役満だが、パソコンを燃やすわけにもいかないので、引続きパソコンは活用している。



若かりし頃リアルに麻雀を楽しんだ時にはお目にかかることがなかった役満である。

ついているのか、ついてないのか? それは今後のお楽しみになるのかなあ。

## 九蓮を上げれば牌を焼くべしと 知ってはいるがパソコン焼かず

## 【極めつけユーモア講演依頼あり いやはやビックリ足立区役所】

転んだり起き上がったりの極めつけは17日(金)に舞い込んできたシニア大楽からの講師紹介申込書だ。足立区役所(足立区友愛クラブ連合会事務局)からの講師派遣依頼で、会員の教養を高めるための講師派遣依頼がシニア大楽にとどき、3人の講師候補の一番手が小生なので、対応可能か否か連絡を請うというもの。

二番手「男と女のおしゃれ術」、三番手「現役100歳までの心身・脳の鍛え方、楽しみ方」を抑えて、小生の「ユーモアはシニアの活力源」が一番手に上がっていた。受講予定人数は400名とある。ホントなの? 男性30%、女性70%とか。引き受けるのはいいけれど、さあこれからド緊張の夏講演の準備に入らなければと身震いする思いである。



400人相手に話す一時間 一所懸命一笑懸命